



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T B K
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岸 高 明
(コード番号 7277 東証第 1 部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 倉 村 雅 彦
(TEL 042-739-1473)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 13 日に公表した平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	46,000	1,300	1,200	△950	△32 円 39 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	46,500	1,800	1,800	△100	△3 円 41 銭
増 減 額 (B-A)	500	500	600	850	—
増 減 率 (%)	1.1%	38.5%	50.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	47,086	1,345	1,150	633	21 円 60 銭

(2) 連結業績予想修正の理由

平成 29 年 4 月 17 日に公表した「補助金収入による特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」の業績に与える影響を算定した結果、補助金収入 1,514 百万円に対して、圧縮記帳による固定資産圧縮損が 1,217 百万円となったため、特別損益の項目において約 3 億円の増益となりました。加えて売上高が前回予想を上回ったこと、国内外における投資効果が現れてきたことなどにより、営業・経常利益の上振れ、親会社株主に帰属する当期純利益の赤字幅の縮小に繋がりました。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上